

令和8年度 科目選択資料集

国語

科目名			
論理国語			
履修条件			
現代の国語、言語文化を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
4	2	-	
紹介			
<p>評論文の読解を中心に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。小説や物語、古典などの教材は扱いません。文章における作者の主張を論理的に読み取る力を身に付けるために必要な語句の量を増やし、文章の構造や論の展開の仕方について理解を深めます。また、読み取った作者の主張に対して自分自身の考えをまとめ、それを交換することで価値観や考えを広げていきます。</p>			
履修上の注意			
特になし			

科目名			
文学国語			
履修条件			
現代の国語、言語文化を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
3	3	-	
紹介			
<p>明治時代から現代までの文学作品を読み、作品の漢字語句や文学史などの知識を身に付けます。 論理国語で学んだ評論文は扱いません。 作品を読む中で登場人物の心情を理解できる読解力、感想文や意見文を書くことで思考力や表現力を身に付けます。</p>			
履修上の注意			
特になし			

科目名			
国語表現			
履修条件			
現代の国語、言語文化を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
4	3	-	
紹介			
<p>文章を書く活動を通して課題発見、課題解決能力の育成を目指すと共に、伝え合い、理解し合うための表現活動を中心に、自己確立に向けた主体的な生きる力の育成をめざします。</p> <p>相手に伝わりやすい文章を書くために必要な知識を身に付け、課題作文、小論文、意見発表等の演習を通して文章力と自己表現力の向上を目指します。</p> <p>小論文、作文の演習が中心になります。進路活動で作文や小論文が必要な人にお勧めします。</p> <p>前向きに文章を書くという目的意識を1年間持ち続けられる人であれば、国語が苦手な人でもお勧めします。</p>			
履修上の注意			
<p>・文系大学進学者のみならず、進路活動において小論文や志望理由の作成が必要になる生徒は受講することをお勧めします。</p>			

科目名			
古典探究			
履修条件			
現代の国語、言語文化を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
4	2,3	2	
紹介			
<p>古典文学の読解に必要な基礎知識と読解力を身に付けます。古文を読み解くために必要な文法事項、古文常識等をしっかりと身に付けた上で、「物語」「日記」「軍記物」から「和歌」まで、様々な古文作品を読み解き、先人の考えや感性に触れる機会とします。また、漢文を読み解く上での基礎知識(訓点、句法等)を身に付け、韻文、散文を問わず幅広く中国の古典文学を学ぶとともに、日本文学史との関連性、重要性についても学びます。</p>			
履修上の注意			
<p>・大学の文学部、語学系の学科等への進学を考えている方は受講することをお勧めします。</p> <p>・単純に古典が好きだという方もお勧めです。</p>			

科目名			
総合古典探究			
履修条件			
古典探究を履修していること、古典探究との同時履修不可			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	
紹介			
<p>古典探究を学んだ上でさらに古典を学びたい方向けの授業です。古典探究を選択した結果、良かったという方に特に選択して頂ければと思います。古典探究で基礎を学んだことが前提ですので、古典探究が難しくて修得が困難であったような方にはお勧め出来ません。内容としては、古典探究よりも難易度の高い文章を取り扱います。文法についてもより詳細に学びます。古典探究よりもより専門性が高く、高度な内容を取り扱う予定ですので、苦手な古典をより伸ばしたいという動機の受講はお勧め出来ません。自ら進んで古典の勉強に取り組める方、高度な内容に付いていける方向けの授業です。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典が苦手得意になるために受講したいという方にとっては高度な内容です。 ・ 古典が大変好きで原文を見ると自分で訳を始めてしまう程興味のあるような方にお勧めします。 			

科目名			
漢字・語句研究			
履修条件			
特になし			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	3	
紹介			
<p>漢字学習の基本である部首や筆順から、熟語の成り立ちや意味、さらには誤字訂正など、漢字を幅広く学習します。また、調べ学習などの主体的な活動で、慣用句やことわざを理解する能力を身に付けることも目標とします。国語というよりも、漢字そのものに興味のある人、漢字能力検定で上位の級の合格を考えている人は選択してください。漢字が苦手な人や、語彙が少ない人で、もっと力を高めたいと考えている人にも選択を勧めます。主な学習の形態は、問題集をどんどんこなして行くというものになります。教室で一斉に問題を演習するだけでなく、自習という形も取ります。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の力を身に付ける講座です。 ・ すべての進路希望者を対象としています。特に就職希望者は、選択することをお勧めします。 			

科目名			
現代文研究			
履修条件			
特になし			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	
紹介			
<p>一般入試で大学進学を検討している人（その中でも現代文を使用する人）に向いています。</p> <p>現代文の問題集や大学入試の過去問の演習を行うことで文章読解に必要な知識・技術を身につけていく講座です。授業は問題演習と解説がメインです。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none">・ 大学・短大の入学試験で、国語の読解問題が課される場合は、できる限り履修してください・ 入試現代文対応科目ですから、じっくりと一つの作品を読み込むというようなことは基本的には行いません。			